道しるべ

第3号
平成21年12月

長崎大学工学部　インフラ長寿命化センター　道守養成ユニット事務局

点検実習を行いました。

道守補後期コースの講義で 11/13（金）に「コンクリート点検実習」、11/27（金）に「鋼構造点検実習」を行いました。実習には平成 20 年度の道守補、道守補助員認定者に加え、本年度の道守補助員修了者からの参加がありました。今回は壱岐からの参加もありました。（修了生参加者：コンクリート点検実習７名、鋼構造点検実習５名）今回の実習では大瀬戸・大島方面のコンクリート橋（２橋）、野母崎方面の鋼橋（２橋）を対象として講義を行いました。外部講師の上阪康雄先生（コンクリート構造物）、阿部允先生（鋼構造物）に点検のポイント等の話をしていただき、参加された皆さんは熱心に耳を傾けられていました。

※ 実習は、現場の提供等、長崎県の協力のもと行っております。

現場実習への参加は道守認定後の活動内容（※1）のひとつであり、H20 年度道守補・補助員認定者の方は更新ポイントにもなります。

(※

道守認定の有効期限は、認定後４年となっており、認定後の活動には、道に関するボランティア活動等への参加、道守シートの提出、道の維持管理に関する業務への参加などがあります。そして、その活動に対して更新ポイントが与えられます。更新ポイントの獲得は、道守資格の更新条件の一つとなります。詳細は、当センター事務局にお問い合わせください。

全コースの講義を終了しました。

１１月２７日の講義をもちまして平成２１年度の全てのコース（道守、特定道守、道守補（前・後期）、道守補助員）の講義を終了いたしました。１２月１８日に道守補後期コースと道守コースの認定試験を予定しており、現在受講生の方が試験に向けて勉強されています。道守コースの最後の講義「総合演習」では、長崎県職員の方に講師をしていただき、「長崎県橋梁長寿命化修繕計画」をもとに、道路構造物のマネジメントに関する演習を行いました。

道守総合演習

認定者の活動

ここでは、道守養成ユニット内で行われる行事・イベントについて紹介します。

平成 22 年３月に「観光ナガサキを支える〝道守〟養成ユニット」平成２１年度成果報告会を開催します。場所、日時等に関しては決まり次第、ホームページに掲載いたします（平成２０年度実績：平成２１年３月１１日、ホテルセントヒル長崎）。参加ご希望の方は、センター事務局までお問合わせください。

	日時	内容	申込締め切り
イベント	３月初旬～中旬	平成 21 年度成果報告会	未定

また、成果報告会への参加は道守認定後の活動内容（※1）のひとつであり、H20 年度道守補・補助員認定者の方は更新ポイントにもなりますので是非ご参加ください！

認定者からの活動報告

本年度の道守補助員コース修了者の方から、道守シートの提出がありました。当センターから管理者（佐世保市）へ連絡を行ったところ迅速な対応をしていただきました。道守シート提出者の方からも「保育園の散歩コースで気になっていたので助かりました」との喜びの声をいただきました。今後もこのような道守活動が盛んになっていけばと感じます。

道守シート提出

管理者へ
連絡

管理者からの対応連絡

お詫びと誌名の変更のお知らせ

本誌も今回で３回目の発行となりますが、本誌の名称「道守通信」が道の保全に関するボランティア活動を広く行われている「道守九州会議」様が発行されている季刊誌と同一名称となっておりました。当センターの配慮が欠けておりましたことを関係者各位の方にこの場を借りてお詫び申し上げます。なお、今回より本誌の名称を「道しるべ」と変更させていただきます。観光ナガサキを支える“道守”の将来の在るべき姿の“道しるべ”として本誌を通じて情報発信していく所存でございます。今後とも皆様方からの多大なるご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

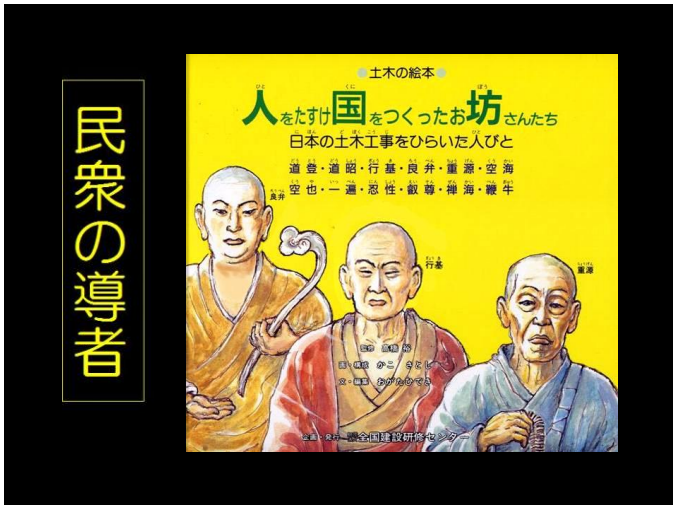
松田センター長より

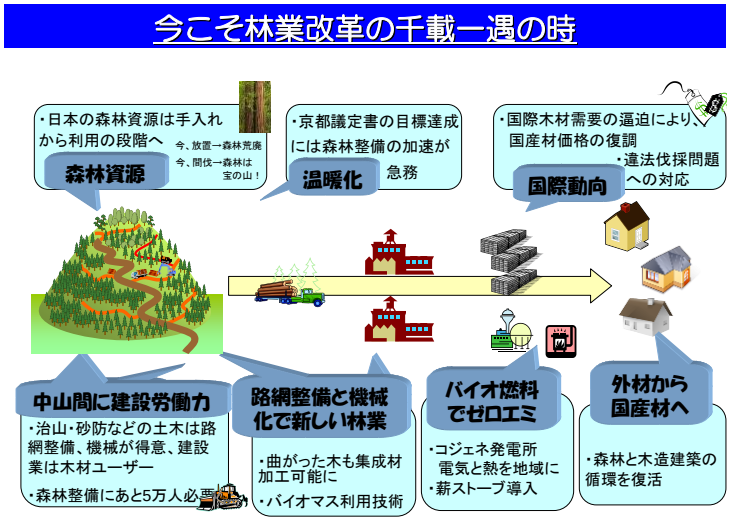
◆　土木学会の全体討論会と道守養成ユニット成果報告会

平成21年度の土木学会年次学術講演会が福岡大学で開催されました。9月3日の全体討論会では、「これからの日本の社会と土木～利他行の土木～」というテーマで、島谷幸宏先生（九州大学大学院教授）のコーディネータとして、パネリストには米田雅子先生（慶応義塾大学教授）、出光隆先生（九州工業大学名誉教授）、桑子敏雄先生（東京工業大学教授）、玉川孝道氏（西日本新聞社 顧問）、岡本博氏（国土交通省九州地方整備局長）が登壇され、パネルディスカッションが開催されました。概要は以下の通りです。

土木の範囲は河川・道路・港湾・上下水道・鉄道・電力など幅広く、人々の暮らしはこれらの社会資本なしには一日たりと成立しません。にもかかわらず、公共事業批判は収まる気配を見せず、土木に対する若者の人気は低落傾向にあります。土木の基本思想と考えられる**利他行**（他人のための幸福を第一に考えること）の思想に焦点を当て、土木が本来あるべき姿に迫った内容でした。

実は、このパネルディスカッションに類した講演会を“道守養成ユニット”の成果報告会で開催しました。出光隆先生には「幸福と土木」、米田雅子先生には「ストック時代の建設業～長寿命化と森林再生～」というテーマで約1時間ずつ講演していただきました。土木学会の討論会よりも時間が多く、そのためより充実した講演内容だったように思いました。土木学会の全体討論会にさきがけて実施したことを光栄に思っています。





◆　第6回地域再生プログラム実施機関連絡会議

平成21年12月1日（火）～2日（水）に長崎大学で第6回地域再生プログラム実施機関連絡会議が開催されました。この会議は、これまで科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」に採択された機関の情報交換の場です。平成19、20年の京都市（6月）、北見市（11月）に続いて、今年は6月に京都市で、そして12月に長崎で開催されました。

京都会議「第8回産学官連携推進会議」（参加者4500人）は、「オープンイノベーション型の産学官連携による新たなる挑戦～環境・資源制約などの世界が直面する様々な制約への対応を成長の糧に～」がメインテーマで、麻生総理からのメッセージからはじまり、野田聖子内閣府特命担当大臣（科学技術政策）の基調講演、佃和夫三菱重工業（株）代表取締役会長の特別講演などがありました。環境問題が重点的課題で、国策としての環境問題に取り組んでいくことになることを実感しました。その後の連絡会議で長崎での開催が決定されました。

長崎での連絡会議は、12/1に各機関の事例報告会、12/2に全体会議を開催しました。全体会議では、①担当教員の仕事量超過への支援策、②養成修了後のサポート、③実施期間終了後の継続、④中間審査での留意点などが議論されました。①ではインセンティブを付与、学内インターンシップ制、アウトリーチなどの手段により教育研究の活性化が図られています。②では**同窓会、OB会**を組織し、

定期的に会議や研究会を開催している機関が多数ありました。道守養成ユニットでも、同窓会、OB会を組織化しようと思います。③は②にも関連しますが、NPO 設立、大学教育への取り込みなど、継続のために種々の取り組みがなされています。④では、ちょうど事業仕分けが話題になっていましたので、今後の本事業の予算などについて多くの質問が出されました。また、審査では、プロジェクト全体が地域再生にどの程度どのように反映しているかを定量的に評価することが必要であることが述べられました。地域再生計画、自治体の方への質問、今後の継続性を踏まえた自治体との連携状況などが中間審査の審査対象となるようです。

この会議が終わった 12/4 の朝に田中俊幸先生（電気電子工学科）とバスが一緒でした。田中先生も会議に参加されていて、「長崎さるく博のボランティアの方を道守補助員に参加してもらったらいいかも知れませんね」と話されました。今まで、気付かなかったことです。観光客と長崎市民がふれあうという新しいスタイルの“さるく博”と、「観光ナガサキを支える“道守”」とは大いに相通じるところあるように思います。

道守のみちのり（10 月中旬～12 月初旬）

ここでは、当センターの主な活動内容を紹介します。

09/10/16　インフラ長寿命化センター新 WEB 公開
09/10/29　「日本道路会議」にて話題提供
09/11/04　長崎大学付属図書館リポジトリに ILEM 活動報告書（H19・20 年度創刊号）を掲載
09/11/5　特定道守コース認定試験
09/11/19～20　鋼構造シンポジウムにてパネル展示
09/11/25　「ながさき見守り隊プロジェクト」長崎街道景観整備グループ会議に出席
09/11/26　道守コース終了
09/11/27　道守補（後期）コース終了
09/12/1　「ちゃんぽん in 長崎」にてパネル展示、話題提供
09/12/2　「地域再生プログラム連絡会議」に参加

作成者の一言

今回は、牧野が担当しました。本年度から当センターに勤務し、道守講義では主に講義準備や演習などを担当させていただいています。受講生の方から教えていただくことのほうが多く、私自身、日々勉強の毎日です。時の経つのは早いもので今年の４月に長崎に越してきて、あっという間にもう１２月になりました。道守養成ユニットを通して出来たみなさまとの繋がりを大切にして、来年も本ユニットを盛り上げていけるようがんばりたいと思います。
来年がみなさまにっとってさらによい年でありますように！！

問合わせ先

長崎大学工学部　インフラ長寿命化センター　道守養成ユニット事務局
〒852-8521　長崎市文教町 1 番 14 号　TEL　095-819-2880　FAX 095-819-2879
Mail: michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp　URL: http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp/michimori

振興調整費

※道守養成ユニットの運営は、文部科学省科学技術振興調整費で行っています。